

研究会報告
- C T研究会 -

藤沢町民病院 東山行雄
《トピックス講演》
「C T Coronary Angiography」
岩手医大 村中健太氏

【現在までの活動内容】

C T研究会は、11月8日で発足丸一年を経過します。上野・川島両担当理事を中心として世話人を選出し、代表世話人には上野担当理事が就任しております。昨年11月8日には2回目の会場と同じ盛岡日赤、記念講堂において発足式、第一回研究会以来以下の研究会を開催しております。今回は、第2回研究会と研究会内で分科会として立ち上げた実験班と臨床研究班のうちの臨床研究班の第1回討論会について報告いたします。

1) 第2回C T研究会

日時 : 16年5月29日(土) 13:30
場所 : 盛岡赤十字病院 記念講堂
内容

《臨床研究班立ち上げの説明及び症例供覧のための話題提供》

藤沢町民病院 東山行雄

《症例に対する自由討論》

テーマ(脳出血・脳梗塞)

せいいてつ記念病院 駒木俊明
水沢総合病院 小島 実

《講演1》

「造影剤副作用の発現リスクの軽減について」
エーザイ(株)東北エリア企画 及川瑞城先生

《講演2》

「C Tにおける至適造影法の試み」
盛岡日赤 放射線技術課 藤村貴順氏

2) 臨床研究班 第一回討論会

日時 : 16年8月21日(土) 14:00
場所 : 盛岡赤十字病院 血液センター講堂
内容

《話題提供》テーマ「頭部のC T」

座長 藤村貴順(盛岡日赤)

「脳腫瘍について」

総合水沢病院 小島 実

「頭部C T Angioについて」

せいいてつ記念病院 駒木俊明

「病変部位決定の仕方と機能系について」

第2回C T研究会は、54人、臨床研究班第一回討論会は、46人の参加がありました。

【今後の活動内容計画】

発足から1年で活動内容の方向性が徐々に定まってきました。年2回の研究会は、医師、薬剤メーカー、装置メーカーなど多彩な講演を取り入れながら進める計画で、当研究会の主力事業として位置づけております。また、現在分化会的に実験班、臨床研究班の2班で同時に進めている活動の報告は、研究会の場で報告する他、必要に応じて新たな会を設けることが確認されております。従って、年間では研究会を2回と必要に応じて討論会等を開催していく予定です。討論会の形ははっきりと決定しておりませんが、症例を中心に臨床に関する話題提供を行いながら、ざっくりとした議論が出来るような会にしたいと考えております。第一回臨床研究班、討論会に出席された方は、どのような内容か大体ご理解いただけると思います。また、実験班でも藤村氏(盛岡日赤)を中心としたグループで基礎的なデータ収集にとりかかっております。近日中に内容の報告が可能と思いますが、県下全域での活動へと広げたいと考えております。尚、次回の研究会は、2月26の週を中心に検討しており、講師には岩手医大循環器医療センターの吉岡先生をお招き出来るよう交渉中です。

【今後の課題】

県技師会では、消化管、マンモ、MRI、CT、US、今年度新たに立ち上げるRIを含む6種類の研究会の運営に関わっておりますが、研究会開催の日程の重複が目立っております。更にADセミナーなども加われば、非常に過密なスケジュールとなり、会員の負担は更に増大します。今後技師会による調整が必至ですが、研究会間でも同日開催などの可能性を模索する必要性に迫られており、検討して行きたいと思っております。

【臨床研究班からのお願い】

臨床研究班では、討論会において症例を中心とした話題提供を行っていきたいと考えております。第一回目は頭部をテーマ話題提供とフィルム症例の討論を行いました。今後同様の形式で頸部、胸部...と随時進めて参りたいと考えておりますが、話題の提供は出来るだけ多くの方にやっていただきたいと考えております。つきましては、主旨に賛同いただき、自分でもやってみようと言う方があれば、東山までご連絡いただきたいと思います（0191-63-5211・mail:fmh-hosha.ne.jp）。また、話題提供や症例の供覧などランダムにお願いする場合がありますので、その節はご協力いただきませう宜しく願いいたします。

【担当幹事及び世話人の変更について】

今年度の幹事の変更、人事異動に伴いIC T研究会担当幹事及び世話人が以下のように変更になりましたのでお知らせいたします。

<担当幹事>

上野 秀昭：代表世話人（総合水沢病院）

東山 行雄 （藤沢町民病院）

<世話人>

駒木 俊明 （せいてつ記念病院）

藤村 貴順 （盛岡赤十字病院）

羽成 孝夫 （岩手医大付属病院）

東 英彦 （県立二戸病院）